

平成27年8月

第1回大野市子ども議会 会議録



開 会

平成27年 8月21日(金)

閉 会

大野市議会副議長

ながた まさゆき
永田 正幸

大野市議会議長

たかおか かずゆき
高岡 和行

富田小学校

きのした けいご
木下 逯悟

和泉小学校

たなか そうま
田中 想馬

下庄小学校

まえだ げんき
前田 絃貴

有終東小学校

くまの ほまれ
熊野 ほまれ

市長

おかだ たかお
岡田 高大

副市長

しもかわ いくた
下河 育太

教育長

まつだ こうじ
松田 公二

有終西小学校

さいとう のぞみ
齋藤 希

小山小学校

まつた らいき
松田 来輝

阪谷小学校

なかむら あやと
中村 彩翔

上庄小学校

すぎもと はるな
杉本 陽菜

乾側小学校

やまだ しょうた
山田 将太

有終南小学校

ほり まゆこ
堀 真由子



平成27年8月・第1回大野市子ども議会 会議録

平成27年8月21日(金)

午後2時 開議

1. 議事日程

- ・大野市民憲章の唱和
- ・大野市教育理念の唱和
- 第1. 議席の指定
- 第2. 会議録署名議員の指名
- 第3. 会期の決定
- 第4. 大野市長あいさつ
- 第5. 子ども議員質問
- 第6. 大野市議会議長講評

2. 出席議員(10名)

1番	堀 真由子 君	2番	山田 将太 君
3番	杉本 陽菜 君	4番	中村 彩翔 君
5番	松田 來輝 君	6番	齋藤 希 君
7番	熊野 ほまれ 君	8番	前田 絃貴 君
9番	田中 想馬 君	10番	木下 溪悟 君

3. 説明のため出席した者の職・氏名

市長	岡田 高大 君	副市長	下河 育太 君
教育長	松田 公二 君	企画総務部長	田中 雄一郎 君
民生環境部長	齊藤 嘉代 君	産経建設部長	朝日 俊雄 君
教育委員会事務局長	小川 市右エ門 君	消防長	高野 清彦 君

企画財政課長	加藤正幸君	教育総務課長	木戸口正和君
和泉支所長	三嶋政昭君		

4. 出席したオブザーバーの職・氏名

大野市議会議長	高岡和行君	大野市議会副議長	永田正幸君
---------	-------	----------	-------

5. 事務局職員出席者

局長	山村正人	次長	西川千鶴代
係長	多田桂子	係長	前田晃宏

6. 議事

(午後2時00分 開会)

○議長(堀 真由子君)

皆さん、こんにちは。

私は、今日の議長を務めさせていただきます有終南小学校6年、堀 真由子です。

どうぞよろしくをお願いします。

初めに、大野市民憲章と大野市教育理念を唱和しますのでお立ちください。

(全員、起立)

○議長(堀 真由子君)

田中想馬さん、木下溪悟さんは議長の前の壇上へお願いします。

(9番 田中想馬君、10番 木下溪悟君 登壇)

○議長(堀 真由子君)

最初に、大野市民憲章を唱和します。

和泉小学校6年、田中想馬さんのあとに続いて唱和してください。

田中想馬さん、お願いします。

○9番(田中想馬君)

大野市民憲章。

九頭竜川の上流にある大野は、清らかな水と空気に恵まれ、緑豊かな自然にはぐくまれてきました。純朴さの中にも幕末の大野丸に象徴される進取の気象と、雪国特有のねばり強さなどで、今日の繁栄を築いてきました。私たちは、美しい自然と輝かしい伝統を受け継ぎ、住みよく生きがいのあるまちづくりを目指して、市民憲章を定めます。

一つ、みずみずしさあふれるまちに。

○全員

私たちは、美しい自然を守り、豊かな郷土をつくります。

○9番(田中想馬君)

一つ、小さな芽が伸びるまちに。

○全員

私たちは、伝統を受け継ぎ、新しい文化を育てます。

○9番(田中想馬君)

一つ、大きくはばたくまちに。

○全員

私たちは、働くことに喜びを持ち、郷土の発展につとめます。

○9番(田中想馬君)

一つ、あたたかい心のかようまちに。

○全員

私たちは、健康で幸せな家庭をつくり、親切の輪を広げます。

○9番(田中想馬君)

一つ、明るくやすらぎのあるまちに。

○全員

私たちは、まちづくりに進んで参加し、住みよいまちを築きます。

○議長(堀 真由子君)

次に、大野市教育理念を唱和します。

富田小学校6年、木下溪悟さんのあとに続いて唱和してください。

木下溪悟さん、お願いします。

○10番(木下溪悟君)

大野市教育理念。

「明倫の心を重んじ 育てよう 大野人」

○全員

人としての生きる道を明らかにし、進取の気象を育てた明倫の心は、いつの時代においても変わらない大野の学びの原点です。

私たちは、この心を大切にして、優しく、賢く、たくましい大野人になるため、学び、育てることに努めていきます。

○議長(堀 真由子君)

皆さん、お座りください。

(全員、着席)

○議長(堀 真由子君)

田中想馬さん、木下溪悟さんは自分の席にお戻りください。

これより平成27年8月第1回大野市子ども議会を開会します。

今日の議事日程は、皆さんにお配りしたとおりです。

すぐに今日の会議を開きます。

これより日程に入ります。

日程第1「議席の指定」を行います。

議席については、既にくじにより決定しておりますので、議長の私が読み上げます。

2番 乾側小学校6年、山田将太さん、

3番 上庄小学校6年、杉本陽菜さん、

4番 阪谷小学校6年、中村彩翔さん、

5番 小山小学校6年、松田來輝さん、

6番 有終西小学校6年、齋藤 希さん、

7番 有終東小学校6年、熊野ほまれさん、

8番 下庄小学校6年、前田絃貴さん、

9番 和泉小学校6年、田中想馬さん、

10番 富田小学校6年、木下溪悟さん、

そして1番、私、有終南小学校6年、堀 真由子をそれぞれ指定致します。

日程第2「会議録署名議員の指名」を行います。

会議録署名議員は、議長の私が

2番 山田将太さん、3番 杉本陽菜さんのお二人を指名します。

日程第3「会期の決定」を行います。

この子ども議会の会期は今日1日としたいと思います。

この決定は電子採決で行います。

電子採決の準備をお願いします。

(議会議務局、電子採決の準備)

○議長(堀 真由子君)

会期を今日1日とすることに賛成の人は、賛成ボタンを押してください。

(各議員 表決)

○議長(堀 真由子君)

確定致します。

(採決集計 賛成9人 反対ゼロ人)

○議長(堀 真由子君)

全員賛成です。よって、会期は今日1日と決まりました。

日程第4、大野市長よりあいさつをいただきます。

大野市長、岡田高大さん。

(市長 岡田高大君 登壇)

○市長(岡田高大君)

皆さん、こんにちは。

大野市長の岡田高大でございます。

本日は、大野市子ども議会に10人の子ども議会議員の皆さんにご参加をいただき、大変うれしく思っております。

この子ども議会は、大野市議会のご努力によりまして、将来の大野市を担う皆さんが質問や提案をすることにより市の仕事や議会の仕組みを理解してもらおうとともに、将来も大野市に住み続けたいと感じてもらいたい、こんな思いから、今回、初めて開催するものです。

皆さんがおられるこの部屋は、本会議場といえます。

ここでは、皆さんが安全で安心に暮らせるよう、これからの大野市をどうしていくのかを話し合うとても大切な場所です。

現在、大野市では「ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち」を目指してさまざまな取り組みを行っていますが、本日は、皆さんが子ども議会議員として、私たちの大野市をもっと住みよいまちにするため、一生懸命考えたことを質問していただけたらうれしく思います。

私も皆さんの質問に精一杯答えさせていただき、いただいた意見や提案をこれからのまちづくりに生かしていきたいと考えています。

ここから皆さんの顔を見ますと、これから開催する子ども議会に対する強い意欲と熱意が伝わってきて、大変頼もしく思っておりま

す。

この広い議場で、大勢の人の前ですから、とても緊張するかもしれませんが、自信を持って質問して下さるよう、よろしくお願ひ致します。

終わります。

○議長（堀 真由子君）

日程第5「子ども議員質問」を行います。
山田将太さんは質問席へお願ひします。

（2番 山田将太君 質問席へ移動）

○議長（堀 真由子君）

最初に、2番、乾側小学校6年、山田将太さんが質問を行います。

（2番 山田将太君 「議長」と呼ぶ）

○議長（堀 真由子君）

山田さん。

○2番（山田将太君）

去年、ぼくたちの学校に新しくエアコンが付きました。夏休みが終わって登校したら、エアコンが付いていてとても驚いたし、うれしかったです。

おかげで暑い日でも勉強を頑張ることができます。

そこで、五つ質問します。

一つ目です。

誰の要望でエアコンを付けることになったのですか。また、誰が決めたのですか。

二つ目です。

大野市の学校全体で何カ所エアコンを付けたのですか。

三つ目です。

総額幾らぐらいかかったのですか。

四つ目です。

エアコンを付けるためにお金を使ってほかの面で困ったことはありませんか。

最後の質問です。

これから特別教室にエアコンを付ける予定はありますか。

以上です。

○議長（堀 真由子君）

山田さんの質問について、答弁をお願いします。

（市長 岡田高大君 「議長。岡田」と呼ぶ）

○議長（堀 真由子君）

市長、岡田さん。

（市長 岡田高大君 答弁席へ移動）

○市長（岡田高大君）

山田議員ご質問の「学校のエアコンの設置」についてお答え致します。

まず「誰の要望でエアコンを付け、誰が決めたのですか」についてお答えします。

夏近くになると、毎日のようにとても暑い日が続きますので、より快適に勉強ができるように、そして熱中症の予防など皆さんの健康を守ることを考えて、皆さんが最も長い時間使用する普通教室にエアコンを付けることを市と市議会が相談して決めました。

次に「大野市の学校全体で何カ所エアコンを付けたのですか。エアコンを付けるための総額は幾らかかったのですか」についてお答えします。

平成25年度と平成26年度の2年間で、小学校で79カ所、中学校で91カ所、合計で170カ所にエアコンを付けました。

エアコンを付けるための工事には、小中学校合わせて4億4,000万円のお金がかかっています。

次に「エアコンを付けるためにお金を使い、ほかの面で困ったことはありませんか」についてお答えします。

エアコンを付けることで、たくさんのお金を使っても困らないように、節約や工夫をしながら学校のいろんなことに取り組んでいます。

次に「特別教室にエアコンを付ける予定は

あるのですか」についてお答えします。

特別教室にもエアコンを付けてほしいという気持ちは分かりますが、学習に必要な大型テレビやデジタル教科書などを買ったり、急に学校の施設や設備を直す必要が生まれたりして、お金のかかることがありますので、特別教室にエアコンを付ける予定はありません。

以上です。

○議長（堀 真由子君）

以上で山田将太さんの質問を終わります。山田さんは、自分の席に戻ってください。杉本陽菜さんは、質問席へお願いします。

（3番 杉本陽菜君 質問席へ移動）

○議長（堀 真由子君）

次に、3番、上庄小学校6年、杉本陽菜さんが質問を行います。

（3番 杉本陽菜君 「議長」と呼ぶ）

○議長（堀 真由子君）

杉本さん。

○3番（杉本陽菜君）

上庄小学校6年、杉本陽菜がエアコンの設置について質問します。

去年から私の学校にエアコンが付けられました。

猛暑日になるような夏の日はとても快適に授業を受けられるようになりとてもうれしいです。

去年の長期休み中に工事をしている、とても大掛かりな工事だったので大変だったろうなと思います。

でも、おかげで教室の環境も良くなったので、勉強も今まで以上に頑張っています。

そこで、質問です。

エアコンを上庄小学校に付けるというのは、誰がどのようないきさつで決めたのですか。

エアコンを付ける工事にはたくさんの費用がかかったと思いますが、どこがお金を出してくれるのですか。

現在、エアコンが付いているのは各学年の教室ですが、理科室など特別教室にも付けてほしいです。可能でしょうか。

以上です。

○議長（堀 真由子君）

杉本さんの質問について、答弁をお願いします。

（市長 岡田高大君 「議長。岡田」と呼ぶ）

○議長（堀 真由子君）

市長、岡田さん。

（市長 岡田高大君 答弁席へ移動）

○市長（岡田高大君）

杉本議員のご質問の「エアコンの設置」についてお答えします。

まず「上庄小学校にエアコンを付けるといったのは誰ですか。どのようないきさつで決めたのですか」についてお答えします。

最近、夏休み前から毎日のようにとても暑い日が続きますので、熱中症から皆さんを守ったり、より快適に勉強ができるようにしたいと考えて、上庄小学校をはじめ、市内全ての小中学校に皆さんが最も長い時間使用する普通教室へエアコンを付けることを市と市議会が相談して決めました。

次に「エアコンを付ける工事にはたくさんの費用がかかったと思いますが、どこがお金を出してくれるのですか」についてお答えします。

小中学校でエアコンを付けた工事の費用は、大野市が4億4,000万円出しており、そのうち上庄小学校のエアコンを付けた工事の費用は3,200万円です。

次に「特別教室にエアコンを付けてほしいのですが可能ですか」についてお答えします。

理科室などの特別教室にもエアコンを付けてほしいという気持ちは分かりますが、学習に必要な大型テレビやデジタル教科書などを

買ったり、急に学校の施設や設備を直さなければならなくなったりしてお金のかかることがありますので、特別教室にエアコンを付ける予定はありません。

以上でございます。

○議長（堀 真由子君）

以上で杉本陽菜さんの質問を終わります。杉本さんは、自分の席に戻ってください。中村彩翔さんは、質問席へお願いします。

（4番 中村彩翔君 質問席へ移動）

○議長（堀 真由子君）

次に、4番、阪谷小学校6年、中村彩翔さんが質問を行います。

（4番 中村彩翔君 「議長」と呼ぶ）

○議長（堀 真由子君）

中村さん。

○4番（中村彩翔君）

阪谷小学校6年、中村彩翔。

市役所について質問します。

ぼくは、市役所を新しく建てているところを何度も見ました。

初めて、新しい市役所を見たら前よりも大きくてきれいでした。

そこで、質問をします。

なぜ古い市役所の横に新しい市役所を建てたのですか。

新しく市役所を建てると決めたのは誰ですか。

市役所を建てた費用は幾らかかりましたか。

前に市役所があった所に広場を作ると聞きましたが本当ですか。

これで質問を終わります。

○議長（堀 真由子君）

中村彩翔さんの質問について、答弁をお願いします。

（市長 岡田高大君 「議長。岡田」と呼ぶ）

○議長（堀 真由子君）

市長、岡田さん。

（市長 岡田高大君 答弁席へ移動）

○市長（岡田高大君）

中村議員のご質問の「市役所」についてお答えします。

まず「なぜ古い市役所の横に新しい市役所を建てたのですか」についてですが、市役所はみんなの暮らしを支えるいろんな仕事をしていますので、仕事を休むことはできません。

そこで、市役所を建て替えるには二つの方法があります。

一つは、今まであった同じ所に建て替える方法で、この場合は、別の所に仮の市役所を作り、そこに引っ越しをしてから古い市役所取り壊して、新しく市役所を建てます。

もう一つは、今までとは別の所に新しい市役所を建てる方法で、出来上がったら引っ越しをして、古い市役所を取り壊します。

古い市役所の横には広い市民グラウンドがありましたので、そこに新しい市役所を建てる方が別の所に仮の市役所を作らなくても良い分、お金も安くなります。

また、古い市役所の横に建てると皆さんにとって分かりやすいことや、結とびあや図書館なども近いので便利もよいと考え、古い市役所の横に新しい市役所を建てることにしました。

次に「新しく市役所を建てると決めたのは誰ですか」についてですが、平成22年に市議会と話し合いを行い、新しい市役所を建てることに決めました。

次に「市役所を建てた費用は幾らかかりましたか」についてですが、新しい市役所の建物は、高さ約19mの3階建てで、約30億円かかりました。

最後に「前に市役所があった所にどんな広場を作るのですか」についてお答えします。

現在、古い市役所があった所に城下町南広

場と呼ぶことにしている広場を作っています。

この広場では、大野市に来られた観光客の駐車場を増やすため、市役所の駐車場と合わせて乗用車が394台、大型バスが12台駐車できるようにしています。

また、いろいろなイベントをこの広場で開催したいと考えています。

そして災害に備えて、けがをした人を病院へ送ったり、食料や荷物などを運べるようにしたりするため、ヘリコプターが着陸や離陸できる場所と、たくさんの水や食料、毛布などを入れておく防災倉庫を建てています。

そのほかにも皆さんがちょっと体を動かしたり、休むことができる芝生の広場も作っています。

以上です。

○議長（堀 真由子君）

以上で中村彩翔さんの質問を終わります。

中村さんは、自分の席に戻ってください。

松田來輝さんは、質問席へお願いします。

（5番 松田來輝君 質問席へ移動）

○議長（堀 真由子君）

次に、5番、小山小学校6年、松田來輝さんが質問を行います。

（5番 松田來輝君 「議長」と呼ぶ）

○議長（堀 真由子君）

松田さん。

○5番（松田來輝君）

小山小学校6年、松田來輝。

夏休みの行事について質問します。

夏休みにはたくさんの行事が行われています。行事に参加することでいろいろな体験ができて勉強になります。

しかし、夏休みがどんどん減っていくのも事実です。

ぼくの場合、保育体験1日、子ども議会2日、計3日も少なくなりました。

そこで、質問です。

夏休みに行われている行事は誰が決めているんですか。

夏休みの行事は、去年と比べて何個増えているんですか。

もし1個か2個ずつ毎年増えていくと、何年かあとに夏休みが全部行事になるのではないですか。

夏休みに行われている行事を減らすことはしないんですか。

春休みは、ほとんど行事がないので、夏休みの行事を春休みや冬休みなどに入れることはできないんですか。

これで終わります。

○議長（堀 真由子君）

松田來輝さんの質問について、答弁をお願いします。

（教育長 松田公二君 「議長。教育長、松田」と呼ぶ）

○議長（堀 真由子君）

教育長、松田さん。

（教育長 松田公二君 答弁席へ移動）

○教育長（松田公二君）

私からは、松田議員ご質問の「夏休みの行事」についてお答え致します。

まず「夏休みに行われている行事は誰が決めているのですか」についてお答え致します。

例として挙げられた小学生一日保育体験は教育委員会、大野市子ども議会は市議会が提案し、みんなで相談して計画をしました。

学習会などそのほかの行事の中には、皆さんの小学校や県の教育委員会などが、会議などで相談して決めているものもあります。

次に「夏休みの行事は昨年に比べていくつ増えているのですか」についてお答えします。

市の行事についてお答えしますと、6年生全員が参加する小学生一日保育体験や、この大野市子ども議会は、昨年はありませんでしたから、二つは増えたこととなります。

次に「もし2個ずつ毎年増えると、何年かあとには夏休みが全部行事になるのではないですか」についてお答えします。

皆さんが好きなことや自分でやりたいことを考えて、それをやってみること、挑戦してみることは、とても大切なことです。

また、体の疲れをとることも必要です。

だから、夏休みを全部行事にするということは、これからもありませんし、毎年、行事を決めるときには、十分相談して本当に必要なものだけを決めていきます。

次に「夏休みに行われている行事を減らすことはしないのですか」についてお答えします。

皆さんは、将来どんな仕事に就きたいですか。もう決めている人もいるかもしれませんが、これから考えるという人もいます。

行事に参加して、いろんな人と協力したり、いろんなことを体験したりすることを通して、それまで気付かなかった自分の良さに気付いたり、知らなかったことに触れたりすることは全て皆さんの一生の財産になります。

これからも、皆さんには無理がかからないように気を付けながら、十分相談して、皆さんの財産になるような行事を計画していくこととお誓いします。

最後に「春休みは、ほとんど行事がないので、夏休みの行事を春休みや冬休みなどに入れることはできないのですか」についてお答えします。

とてもいいアイデアだと思います。

冬休みや春休みに行ってもよい行事があれば、そのように考えたいと思いますが、冬休みは年末・年始ということもあり、家族で過ごす時間も大事にしなければなりません。また、春休みには、新しい学年を迎えるための計画を立てるので、行事は実施しづらいとい

うことも考えなくてはなりません。

今日のこの「子ども議会」のように、行事に参加したり、その準備をしたりすることは、自分の自由な時間を取られることだと、今は感じるかもしれませんが、ぜひとも頑張って挑戦していただきたいと思います。

苦労して挑戦したことや、頑張って準備したことが、きっと皆さんの貴重な体験となり、皆さんを優しく、賢く、たくましい結の故郷の大野っ子に成長させてくれると考えるからです。

今日のこの体験をさせていただいたのも、市議会をはじめ、多くの関係者の方々のおかげさまと感謝をしていただきたいと思います。

以上です。

○議長（堀 真由子君）

以上で松田來輝さんの質問を終わります。

松田さんは、自分の席に戻ってください。

齋藤 希さんは、質問席をお願いします。

（6番 齋藤 希君 質問席へ移動）

○議長（堀 真由子君）

次に、6番、有終西小学校6年、齋藤 希さんが質問を行います。

（6番 齋藤 希君 「議長」と呼ぶ）

○議長（堀 真由子君）

齋藤さん。

○6番（齋藤 希君）

有終西小学校6年、齋藤 希。

城まつりのまんじゅうまきについて質問します。

これは私が体験した話です。

小学生ふるさと芸能発表会のときにまんじゅうまきがあると知った私は、はりきってその会場に行きました。

ですが、子どもがする所に大人が混じってきました。なので、私はその大人に「大人がする所はあっちですよ」と言いました。

でも、その大人は全く聞き入れず、私が取

ろうとしているまんじゅうを全部取ってしまったし、大人のおしりに押されて私は倒れてしまいました。

結局、私は一つもまんじゅうを取れずくやしい思いをしたことを今でも覚えています。

そこで、子どもも安全で楽しく参加できるまんじゅうまきを大野市の伝統にしていけたらいいと思います。

岡田市長、どう思いますか。

○議長（堀 真由子君）

齋藤 希さんの質問について、答弁をお願いします。

（市長 岡田高大君 「議長。岡田」と呼ぶ）

○議長（堀 真由子君）

市長、岡田さん。

（市長 岡田高大君 答弁席へ移動）

○市長（岡田高大君）

齋藤議員のご質問、「城まつりのまんじゅうまき」についてお答えします。

とても楽しみに参加してもらったまんじゅうまきで、嫌な思いをしたとのお話でした。

初めに、おおの城まつりの代表者として、このようなことになり、とても残念に思います。

去年は大人も子どもも楽しんでもらえるように、大人と子どもでまんじゅうを拾う場所を別々にしました。そして子どもの場所でも、小学生より小さい子どもたちが一緒に拾うことになるので、その子どもたちがけがをしないように、家族の人と一緒に参加してもらうことにしました。

このため、子どもたちの場所にも一部、大人の人が入ることになり、齋藤議員が体験されたようなことが起きたのだと思います。

しかし、子どもの場所でまんじゅうを拾っていた家族の人も、自分の子どものために頑張っていたのだと思いますので、許してあげ

てもらえるとうれしいです。

まんじゅうまきは、お祝いの喜びをみんなに分けて、一緒に楽しんでもらおうという、大野の伝統的な行事の一つです。

今回の齋藤議員のご意見は、このような行事の行い方にとっても参考になります。

このご意見を基に、今年のまんじゅうまきでは、大人と子どもを分け、小学生より小さい子どもたちには、あとでまんじゅうを手渡ししました。

でも、この方法が一番良いとは限らないので、これからももっと工夫をして、会場に来た人みんなが安全に楽しめるようにしていきたいと思います。

以上です。

○議長（堀 真由子君）

以上で齋藤 希さんの質問を終わります。

齋藤さんは、自分の席に戻ってください。

会議の途中ですが、しばらく休憩致します。

（午後 2 時 35 分 休憩）

（午後 2 時 50 分 再開）

○副議長（齋藤 希君）

ここからは、私、副議長の有終西小学校 6 年、齋藤 希が会議を進行致します。

会議を再開します。

熊野ほまれさんは、質問席へお願いします。

（7 番 熊野ほまれ君 質問席へ移動）

○副議長（齋藤 希君）

次に、7 番、有終東小学校 6 年、熊野ほまれさんが質問を行います。

（7 番 熊野ほまれ君 「議長」と呼ぶ）

○副議長（齋藤 希君）

熊野さん。

○7 番（熊野ほまれ君）

有終東小学校 6 年、熊野ほまれ。

コンピューターの学習について質問します。

私の学校では、テレビと実物投影機が各教室に備えられるようになり、とても便利になります。

また、私たちは学校のパソコンを使って調べ学習をしたり、まとめに利用したりしています。

いろいろな機器を使うようになりました。

タブレットを使って授業をしている先生もいます。

タブレットを使って学習する学校があると聞いたことがあります。しかも児童が一人1台で利用しているそうです。

そこで、質問です。

大野の学校でも児童が一人1台ずつタブレットを使って学習することはできますか。

タブレットを購入するかしないかを決めるのは誰ですか。

もしも一人1台でタブレットを利用するのなら、費用は幾らぐらいかかりますか。

これで終わります。

○副議長（齋藤 希君）

熊野ほまれさんの質問について、答弁をお願いします。

（市長 岡田高大君 「議長。岡田」と呼ぶ）

○副議長（齋藤 希君）

市長、岡田さん。

（市長 岡田高大君 答弁席へ移動）

○市長（岡田高大君）

熊野議員ご質問の「コンピューターの学習」についてお答えします。

まず「大野市の学校でも児童が一人1台ずつタブレットを使って学習することはできますか」についてお答えします。

大野市では、現在、できるだけ多くの教室に電子黒板機能付き大型テレビと実物投影機、国語、社会、算数、理科の4教科のデジタル教科書を購入し、学習に役立ててもらおうと

計画しています。今年の2学期の間には、5・6年生全ての教室に取り入れます。

このため、今すぐにタブレットも一人1台使えるように買うことは難しいので、今は現在のコンピューター室にあるパソコンを活用してほしいと思います。

次に「タブレットを購入するかしないかを決めるのは誰ですか」についてお答えします。

まずは市の教育委員会で、タブレットを利用することでどれだけ学習内容が分かりやすくなるのか、学校にはもっとほかに必要な物がないのかなど、いろいろな面から考えます。

その結果、タブレットを使った学習に予算を使うべきだと判断すれば、それをさらに市議会で話し合い、賛成されて、初めて皆さんに使っていただけることとなります。

つまり、タブレットを購入するかしないかは、市と市議会の話し合いによって決めます。

最後に「一人1台タブレットを利用するのなら、費用は幾らぐらいかかりますか」についてお答えします。

タブレット一台にかかる費用は、およそ20万円になります。

大野市の小中学生の人数は、現在およそ2,500人います。もし仮に全ての小中学生に一人1台タブレットをそろえたとすると、2,500台必要になります。1台がおよそ20万円ですから、費用はおよそ5億円になります。

このようにタブレットなどのコンピューターをそろえるにはたくさんの費用がかかります。

以上です。

○副議長（齋藤 希君）

以上で熊野ほまれさんの質問を終わります。熊野さんは、自分の席に戻ってください。前田絃貴さんは、質問席へお願いします。

（8番 前田絃貴君 質問席へ移動）

○副議長（齋藤 希君）

次に、8番、下庄小学校6年、前田絃貴さんが質問を行います。

(8番 前田絃貴君 「議長」と呼ぶ)

○副議長(齋藤 希君)

前田さん。

○8番(前田絃貴君)

ぼくは、この大野市が好きです。

理由は環境もいいし、人も優しいし、友達もたくさんいるからです。

でも、将来大野に住んでいるかと考えると、ちょっと難しいです。

それは、ぼくが働きたいと思っている職場から大野市までが遠いからです。

また、福井市などのように大型ショッピングセンターはないし、勝山市のように恐竜博物館のような楽しい施設也没有ありません。

だから、不便で刺激が少ないとも感じるし、観光客なども少ないとも思います。

それに、姉や兄も高校から福井に出て、いろいろな経験をして、高校生活を楽しんでいます。それをうらやましく思っています。

そこで質問ですが、大野市にも大型ショッピングセンターや大型プラネタリウムのような施設を誘致することはできないのでしょうか。また、誘致するときは誰が決めるのでしょうか。

そしてそういう施設を誘致する予算はあるのでしょうか。

そうすれば、大野は自然もあるので、観光客が多くなり、今、大野市に住んでいる人たちも生活が楽になると思います。

このほかに大野市では、観光客を増やすための政策としてどのようなことを考えているのですか。

ほかにも教室に網戸がないため有害な虫などが入ってきて授業に集中できなかったというようなことを友達同士で話すことがあります。

ぼくたちの要望を実現させたいときは、どうすればよいのでしょうか。

○副議長(齋藤 希君)

前田絃貴さんの質問について、答弁をお願いします。

(市長 岡田高大君 「議長。岡田」と呼ぶ)

○副議長(齋藤 希君)

市長、岡田さん。

(市長 岡田高大君 答弁席へ移動)

○市長(岡田高大君)

前田議員ご質問の「大型施設の誘致」についてのうち、1番目の「大型ショッピングセンターや大型のプラネタリウムなどの施設を誘致することはできないか」についてですが、大野市では、都会にあるような大型のショッピングセンターや大型のプラネタリウムの誘致は考えておりません。

次に「大型ショッピングセンターなどを誘致する予算があるか」については、大野市へ誘致しようとする会社の種類は、いろいろありますが、ショッピングセンターは、この中には入っていないので、誘致するための予算はありません。

3番目のご質問、「誘致する会社をどのように、誰が決めるのか」については、まずは会社に大野市で工場を建てようと思ってもらえることが一番大切なことです。

そしてその会社が、大野市の特色を生かし、大野市に貢献できる会社であるか、地域の方と仲良くできる会社であるかなど、地域の皆さんや市議会と相談して決めていきます。

次に「観光客を増やすための政策」については、大野市では現在、五つの取り組みをしています。

一つ目は、大野の人や歴史、文化、伝統、自然、食などの魅力をもっと引き上げながら、新しい魅力も見つけていこうという取り組み

です。

二つ目は、観光客の皆さんにより気持ちよく楽しんでもらえるように、市全体でおもてなしをしていこうという取り組みです。

三つ目は、大野市の魅力をしっかりと伝えることと、観光客の皆さんの意見を聞く取り組みです。

四つ目は、観光客の皆さんになるべく長く大野市にいてもらえるような取り組みです。

五つ目は、大野市の周りの市や町と一緒に大きな魅力を作っていこうという取り組みです。

このような取り組みにより、去年は193万人の観光客に来ていただくことができました。

次に「皆さんが要望を実現させたいときはどうすればよいのですか」についてお答えします。

学校での生活の中で要望したいことや、改善してほしいことがあったときには、まず学校の仲間や児童会などで話し合い、みんなの力で解決できないか考えてほしいと思います。

そして話し合いをしても良い方法が見つからない場合には、担任の先生や教頭先生に相談してください。先生方は、その相談を職員会議などで話し合いをし、必要なときには校長先生が市役所の教育委員会に相談をしてくださると思います。

教育委員会や市では、市役所の関係する人や議会と相談し、必要と思うことは取り組んでいきます。

次に「教室に網戸を取り付けること」についてですが、大野市では、去年、全ての小学校の普通教室にエアコンを設置しましたので、暑い夏でも快適に勉強ができるようになったと思います。

前田議員が言われるのは、エアコンを使わない春や秋のことだと思いますが、ハチやハエなどの虫除けには網戸があると便利ですが、

網戸を取り付けるにはいくつかの安全上の問題があります。

一つ目に、もしも風などで網戸が外れてしまうと、下を歩いていたたり、近くで遊んでいたりする子どもにあたってしまう危険があります。

二つ目に、網戸にグラウンドの砂ぼこりや虫などが付いて掃除をするときに、2階や3階の高い所では、網戸や掃除用具などが落下する恐れがあります。

このように、網戸を取り付けるには安全上の問題があるため、多くの学校では網戸が取り付けられていません。

学校生活で一番気を付けなければならないのは、児童の皆さんがけがをしないようにすることです。そのことから、教室に網戸を取り付けることは考えておりませんので、分かってほしいと思います。

終わります。

○副議長（齋藤 希君）

以上で前田絃貴さんの質問を終わります。

前田さんは、自分の席に戻ってください。

田中想馬さんは、質問席へお願いします。

（9番 田中想馬君 質問席へ移動）

○副議長（齋藤 希君）

次に、9番、和泉小学校6年、田中想馬さんが質問を行います。

（9番 田中想馬君 「議長」と呼ぶ）

○副議長（齋藤 希君）

田中さん。

○9番（田中想馬君）

和泉小学校6年、田中想馬が、和泉地区で買い物をする場所について質問します。

ぼくが住んでいる和泉地区には、いろんな物を買うことができる商店が近所にあります。

放課後にお菓子や飲み物などを買っていたのですが、昨年度に閉店してしまいました。

そこで、次のような提案をしたいと思えます。

学校の周りや九頭竜湖駅、ふれあい会館など、人が集まる場所を移動しながらお菓子や飲み物、パンや本などを販売する移動販売車を走らせることはできないでしょうか。

○副議長（齋藤 希君）

田中想馬さんの質問について、答弁をお願いします。

（市長 岡田高大君 「議長。岡田」と呼ぶ）

○副議長（齋藤 希君）

市長、岡田さん。

（市長 岡田高大君 答弁席へ移動）

○市長（岡田高大君）

田中議員のご質問の「人が集まる場所を移動しながら、お菓子や飲み物、パンや本などを販売する『移動販売車』」についてお答えします。

和泉地区では、食料品から日用品、文房具類をはじめ、お菓子やジュース、パンなどを販売し、コンビニ的存在として、子どもたちからも親しまれてきた朝日区内の個人商店が昨年末に閉店したことで、ちょっとした物でも市街のスーパーなどへ買い物に出掛けなければならなくなったと聞いております。

田中議員が希望されるような移動販売車について、市が行うことは難しいものと考えておりますが、現在、和泉地区には週に1回、市街地からお肉屋さんの移動販売車が来ており、このお肉屋さんにあらかじめお願いすることで、食料品や日用品を買い求めるおうちや、県民生協や市内の食品スーパーが実施する宅配サービスを利用するおうちも増えていくとのことで、大変ありがたく思っております。

本につきましては、現在、販売を行っているところはありますが、和泉公民館で、大

野市図書館と連携し、月に一度、図書の一部の入れ替えを行いながら、地区の皆さんにたくさんの本を読んでもらえるよう努めています。

今後も公民館で、子どもから大人まで幅広い世代に利用してもらえるように、地区の方からご要望のある図書をそろえるなど、皆さんに喜ばれる図書室づくりを進めていきますので、地区の皆さんには十分に利用していただきたいと思えます。

以上です。

○副議長（齋藤 希君）

以上で田中想馬さんの質問を終わります。

田中さんは、自分の席に戻ってください。

木下溪悟さんは、質問席へお願いします。

（10番 木下溪悟君 質問席へ移動）

○副議長（齋藤 希君）

次に、10番、富田小学校6年、木下溪悟さんが質問を行います。

（10番 木下溪悟君 「議長」と呼ぶ）

○副議長（齋藤 希君）

木下さん。

○10番（木下溪悟君）

富田小学校6年、木下溪悟。

公園の遊具について質問します。

ぼくは、休みの日に友達と遊具で遊ぶことがたくさんあります。

遊具が変わって楽しく遊べる一方で、いつの間にか取り壊されて悲しくなるという意見も聞かれます。

そこで、質問します。

公園の遊具は、誰が計画を立てて設置するのですか。

逆に、取り壊すことはどのようにして決定するのですか。取り壊すことに何か条件はあるのですか。

公園の遊具の費用は、誰が出しているのですか。

遊具の設置にはどのぐらいの費用がかかっているのですか。

また、取り壊すのにどのぐらいの費用がかかっているのですか。

遊具の種類などについて要望を出すことができますか。

以上です。

○副議長（齋藤 希君）

木下溪悟さんの質問について、答弁をお願いします。

（市長 岡田高大君 「議長。岡田」と呼ぶ）

○副議長（齋藤 希君）

市長、岡田さん。

（市長 岡田高大君 答弁席へ移動）

○市長（岡田高大君）

木下議員ご質問の「公園の遊具」についてお答えします。

一つ目の「誰が計画して遊具を設置し、どんな条件で取り壊しを決定するのか」についてですが、まず遊具を設置する場合には、公園の整備を担当する市役所の職員が、その公園を利用する地域の皆さんの要望や意見を参考にするとともに、ほかの公園や遊具を設置する費用などを考えて計画し、市議会と話し合って設置します。

また、取り壊しについては、設置してから何十年も経って古くなったものや、点検した結果、修理しても安全に使えるなくなった遊具を取り壊すことにしています。

次に、二つ目の「公園の遊具の費用は誰が出すのか」についてですが、遊具を設置する費用は大野市が出しています。

次に、三つ目の「遊具の設置と取り壊しの費用」についてですが、種類や大きさによって違います。

二つ並んだブランコで約60万円、滑り台で約80万円、二つ並んだ鉄棒で約20万円かかり

ます。いろいろな遊具が一緒になったものを複合遊具といいます。昨年、明治公園に設置したものは約1,300万円かかっています。

また、取り壊す費用は、大体ですが、設置する費用の5分の1ぐらいの費用がかかります。

最後に、四つ目の「遊具の種類に要望は出せるか」についてですが、大野市が管理する公園の遊具を設置するときや取り替えるときには、その公園がある地域の皆さんの要望や意見なども参考にして、どんな種類の遊具にするのかを決めています。

以上です。

○副議長（齋藤 希君）

以上で木下溪悟さんの質問を終わります。

木下さんは、自分の席に戻ってください。

堀 真由子さんは、質問席へお願いします。

（1番 堀 真由子君 質問席へ移動）

○副議長（齋藤 希君）

次に、1番、有終南小学校6年、堀 真由子さんが質問を行います。

（1番 堀 真由子君 「議長」と呼ぶ）

○副議長（齋藤 希君）

堀さん。

○1番（堀 真由子君）

有終南小学校6年、堀 真由子。

名水について質問します。

大野の水は、名水百選に既に選ばれていて、7月には「水道水がおいしい市町村」で大野市の水道水が日本一に選ばれました。

私は、これまで水道水はおいしいのが当たり前だと思っていましたが、都会に進学した兄たちが水道水がおいしくないと言っていました。

また、茨城から南校へ来られた学校の先生も、水道水のおいしさにビックリしていらっしゃいました。

これらのことを聞いて私は、水道水がおい

しいことは幸せなことだとあらためて思いました。

そこで、質問をします。

上水道が通っている地域がごく一部なのはなぜですか。

大野は、井戸水が水道の蛇口から出てくる所が多いですが、これからも上水道にはならず、ずっと井戸水を使っていくのですか。

地下水がなくなることはないのですか。

節水のほかに私たちにもできる地下水を守る工夫は何かありますか。

大野のおいしい水を全国の人に知ってもらうようなことを市ではどのようなことをしているのでしょうか。

そのことについて、私は二つのことを考えました。

一つは、名水を使ったゼリーや水ようかん、カット氷、化粧品などをアピールすることです。

二つ目は、ジュースやビールのような大きなメーカーの工場を建てることです。

工場を建てるとう税金がたくさん払ってもらえますし、大野に住む人の働く場所ができます。

夏、猛暑が続いたり、地震や停電が起きると水がぬるくなったり濁ったりして、体に悪い影響を及ぼさないか心配になりますが、家で簡単に水の安全を確かめられる道具はありますか。

大野の上水道の水は大部分が地下水ですが、残りはどこの水を使っているのですか。

以上です。

○副議長（齋藤 希君）

堀 真由子さんの質問について答弁をお願いします。

（市長 岡田高大君 「議長。岡田」と呼ぶ）

○副議長（齋藤 希君）

市長、岡田さん。

（市長 岡田高大君 答弁席へ移動）

○市長（岡田高大君）

堀議員ご質問の「名水」についてお答えします。

まず「上水道が通っている地域がごく一部なのはなぜですか」についてお答えします。

大野市は、周囲を山に囲まれた盆地で、そこに降った雨の一部は清らかな地下水となって、私たちが生活している所にたくさん集まってきます。

このため、多くのおうちが、その地下水を直接くみ上げて利用していることから、上水道が利用できる地域は一部となっています。

次に「井戸水が水道の蛇口から出てくる所は、これからも上水道にはならず、ずっと井戸水を使っていくのですか」についてお答えします。

水道工事が進み、上水道が利用できるようになったときには、井戸水を使っているおうちも、「水道水がおいしい市町村」で日本一に選ばれた大野市の安全・安心な水道水を使ってほしいと思っています。

次に「地下水がなくなることはないのですか」についてお答えします。

大野市民の宝といわれている地下水は、使い方によっては、いつまでもあるものではありません。

そこで、大野市では地下水の水位を調べたり、大野市の地下水が市街地の上流地域で浸み込んでいることから、冬に小山地区や上庄地区の田んぼを借りて、田んぼに水を張り、地下に浸み込ませたりすることを行っています。これからもこのような取り組みを続けていき、地下水を守りたいと思っています。

次に「節水のほかに私たちにもできる地下水を守る工夫は」についてお答えします。

地下水を守る第一は節水ですが、そのほか

には、地下水を汚さないように地下水が浸み込んでいる川にごみを捨てたり、汚れた水を流さないようにしてください。

また、大野市内の各小学校が昨年から大切に育てているドングリの苗を、今後、山へ植林することも大野市の地下水を守るためには大事な取り組みです。

次に「大野のおいしい水を全国の人に知ってもらうための取り組み」についてお答えします。

まず観光パンフレットで市内にあるたくさんの清水や、その清水を巡る観光コースを紹介しています。

そして、その観光パンフレットを全国のイベントやお祭りなどでお客さんに渡したり、高速道路のサービスエリアでは、立ち寄ったお客さんに手に取っていただいたりするなどして、名水と大野市の魅力のPRをしています。

議員からご提案のありました名水を使ったゼリーや水ようかん、そして、このほかにも名水で作られているお酒やみそ、しょうゆなどの商品のアピールについては、毎年2月のでっち羊かんまつりなどのイベントで販売するなどして、市民だけではなく全国の方にもアピールしています。

また、ジュースやビールなどの大きなメーカーの工場を建てることについては、水を利用している会社に大野に工場を建ててもらえないか働き掛けをしています。

次に「家で簡単に水の安全を確かめられる道具はありませんか」についてお答えします。

上水道の水は、毎日検査していますし、専門機関での詳しい検査もしていますので、安心して利用していただきたいと思います。

地下水については、簡単に家庭で水の安全を確認する道具はありませんので、地下水が濁ったり、色に変化があったりしたときには、

市役所へ連絡をしてください。

最後に「大野の上水道の水は大部分が地下水ですが、残りはどこの水を使っているのですか」についてお答えします。

大野市の水道は、まちなかにある上水道と農村部にある簡易水道があります。

上水道は、地下水を使っています。また、ほとんどの簡易水道は、地下水を使っており、一部は谷川の水を使っています。

私たちが生活していく上で、水はかけがえないものです。そして大野市では、ほとんどの人が地下水を利用しています。

そんな恵まれた環境で暮らしていけることに感謝することを忘れないでください。そして、このことを誇りに思ってください。

終わります。

○副議長（齋藤 希君）

以上で堀 真由子さんの質問を終わります。

堀さんは、自分の席にお戻りください。

以上で子ども議員質問を終わります。

日程第6、大野市議会議長より講評をいただきます。

（大野市議会議長 高岡和行君 「議長。高岡」と呼ぶ）

○副議長（齋藤 希君）

大野市議会議長、高岡和行さん。

（大野市議会議長 高岡和行君 登壇）

○大野市議会議長（高岡和行君）

議会の高岡でございます。

皆さんこんにちは。

本日は講評ということで、一言お話をさせていただきますと思います。

まずは議員の皆さん方、お疲れさまでございました。

今日は、オブザーバーということで、私も初めて理事者席に座らせていただきましたけれども、非常に緊張致しました。

そして皆さん方の質問、そして理事者の答

弁を理事者側で聞くということは、議員はございませので、非常に緊張致しましたが、本当に皆さん方にはよく勉強されて非常に感性あふれたご質問があったのではないかなと思っておりますし、普段、大人目線で見ているわれわれですけれども、皆さん方の子ども目線で見られた質問というのに関しましては、気が付かないことが非常に多くあって、非常に良かったんじゃないかなと思っております。

少し中の方に入らせていただきますと、議会と理事者が予算を立てさせていただいたエアコン。

このように喜んでいただけたのは本当にうれしいことだと思っております。

私なんかやもすると、エアコンをかけて気分が良くなると寝てしまいますので、勉強に励めるという言葉をお聞き致しましたので、これで大野の教育も安心かなと思っております。

そしてまた、イベントです。

まんじゅうですけれども、私も昔からまんじゅう拾いが下手でございまして、「どれだけの数をまいていただけるか」という再質問をしていただけるとよかったかなと思っております。

そしてコンピューター。

やはり今の現代の子じゃないかなと。

コンピューター学習っていうことは、これから非常に大事になりますので、何としましてもこれから私ども議会もコンピューターのタブレットをお買い求めいただけるような理事者と折衝をさせていただけたらと思っております。

そしてそうですね、水ですね。

大野の宝の水を質問していただいたことは非常にありがたいです。

こんなおいしい水が飲める所で離れずに住んでいただけたらと思っております。

最後になりますけれども、夏休みを2日間も削ってしまいまして、大変申し訳なかったかなと。

しかしながら、こうして皆さん方が議場で味わった緊張感というのは、普段、経験ができるものじゃないと思います。

必ずや生涯、この経験が皆さん方の心に残るのではないかなと思っております。

夏休みを減らすことになりまして、大変申し訳ないんですけれども、この経験を忘れることなく、貴重な体験をこれからの学校生活に生かしていただけたらと思います。

最後でございませけれども、昨今のニュースでございませけれども、選挙年齢が20歳から18歳になりました。

皆さん方、6年程度で選挙権が得られると思います。

そして、この場でまた政治に関心をお持ちいただいて、そして選挙に参加していただいて、政治に関心を持っていただいて、大野市の市政をきちっと見つめていただいて、市勢発展のために、また皆さん方のご意見、ご尽力をお願い賜るということをお願い申し上げまして、講評とさせていただきます。

この気持ちを忘れず、頑張っていただきたいと思っております。

本日は、本当にお疲れさまでございました。

○副議長（齋藤 希君）

以上で日程が全て終わりました。

これをもちまして、平成27年8月第1回大野市子ども議会を閉会します。

お疲れさまでした。

（午後3時24分 閉会）

上記会議の顛末を証するためここに署名する。

議 長

.....

.....

副議長

.....

.....

署名議員

.....

.....

署名議員

.....

.....

故郷の結ゆいののくに越前おおの